Part I 卒論のかき方おしえます
ここでは,特集の二番目として卒業のための最後の通行手形とも言うべき `卒論 "について,アンケート
や卒論作成後の感想を中心に構成してみました。
まず,アンケートでは卒論のテーマやその特色 ,それを選んだ理由をお尋ねしてみたわけですが,予想に
違わず (?)他の学部には見られないような多種多様のおもしろげ,興味深げrA‐ テーマが見受けられ ,さす
がに総合科学という学部の特殊性の一端にふれたようでありました。 (もちろんその中味にお目にかかつた
わけではありませんが。)
ついで,卒論紹介ということで,4名の方にそれぞれ卒論を書き終えての感想 ,苦心談,その方法論とい
ったものを述べていただこうと考え,4名の方にはいろいろとお忙しい上にまたお手を煩わせることになつ
たのですが,そのおかげをもちまして,こうして空白を作ることr■‐く「 飛翔 」をおとどけできる次第であり
ます。 ＼
V
1 卒論のテーマとその特色
問(1)あなたの卒論のテーマは何ですか。
(2)その卒論の特色は何ですか。
(3ヽヽつ,どのような理由で決めましたか。
地域文化コース
ト新宅弘昭アジア研究 卜藤谷昌平英米研究
(1)シンガポールの経済的特質 (1)アメリカ外交におけるポーランド問題
(2)シンガポールの経済活動を通して,「 人々の生活」 (2)国内運動と米・ソ政策をからませ,冷戦の萌芽
を掴む。 とみたい。
(3)昨年 ,シンガポールを訪れた時 ,その発展ぶり >早川弘信英米研究
に驚いたから。 (1)世紀転換期の移民問題
>井上雄之アジア研究 (3)3年次に教官の講義を聞いて興味をもった。
(1)シンガポール華僑社会に関する社会経済史的一 レ民谷昌弘英米研究
考察 (1)19世紀末期のアメリカ社会一国内状況と外交
(2)学問的価値は何もなく,ただ時間をかけたこと (2)外交史上著しい転換を示した米西戦争を取り上
(3)昨年の 12月頃,東南アの華人系住民について げ社会の考察の一手段とする。
やろうと漠然と決め,破廉蜀さ事件のあったシン (3)3年の後半 ,演習を受けながらアメリカ社会に ~
ガポール旅行後 ,自らを妥協させるため (?) ついての考察に関して何がその手段として有効
上記のテーマを決定した。 (ただ自らが,東南 かを考えた。
アでの日本の位置を理解する上では,その一助 レ田中真志英米研究
となつたと思っている。) .‐ | (1)グレートプレーンズの開拓
>津崎泰代英米研究 : ‐ | ‐ |(2)地理的なアプローチ
(Dジャズの普及と変貌-1‐ 9120年代アメリカ大 (3)3年次に教官と自分の副専攻などを考えて。
衆文化 ■ | ・)玉木俊幸英米研究
(2)いままでの学部がほとんど取り上げなかつたテ 〔Jマッカニンズムの社会的背景
―マをやる。 ‐ (3)山田ゼミで国際関係論演習をとった時 (3年の
(3)3年の冬休みから春休みにかけて。|1自分の好き 後半)。
な大衆文化の中から卒論のテーマを選びたかっ レ幾留修英米研究
たし, 1920年代が特におもしろそうだつた (1)SCh01arship bOyの問題について
ので。 (2)社会学的研究と文学的研究の両側面を備えてい
るところか ?
-10-

υ
ヽ、、ヽ_´ /′
(3)演習に出て,専門書に触発された。
レ橋詰義次比較研究
(1)アール・ヌーヴォーとモリス
(2)機械文明と工芸問題 ,碩廃
(3)2年ほど前 ,東洋文化の西洋への影響がきつか
け。
レ天野雅郎比較研究
(1ンヾスカル
(2)不明。
(3)不明。「 出会い 」とはかくの如きものなり。
>天羽康隆比較研究
(J川端文学研究
(2)古典との関連
(3)最終的に決めたのは 4年初。
レ清水冬絵比較研究
(1)`悪魔 "と `株儒 "(アングロース・ ビアスと
芥川龍之助)
(2)特に/3‐ し。残るものがあるとすれば真空でしょ
うか。真空こそ残したいものです。
(3)4年前に出会ったような気もするし,昨日のこ
とのようでもあり,いつまでもつきまとってく
るようである。理由は特別なし。偶然であり,
かつ必然である。
社会文化コース
ト尾崎弘明
(1)ソ連の対日参戦
(2)軍事面と政治面の両面から考察する。
(3)3年次のゼミで ,この問題についてレポートし
たのがきっかけでその問題を調べていくうちに
興味をもってきたためで ,いつ頃とは言えない
がだいたいは 3年次後半。
>北川健治
(1)現代文明の哲学的考察 ―仏教に光をあてて一
(2)卒論で概論的に自己の学問の方向性を示し,歳
月をかけて“文化創造 "の研究を成就していき
たいという方向性にのっている。
(3)2年の夏 ,西洋の没落 ,歴史の研究に出会い今
まで読んできた古典からの流れによる現代のと
らえ方を再び考察し,総合科学部に学ぶ一期生
として文明 ,文化を大きくクローズアップする
必要性を感じた。また,友人 ,先生方との語ら
いも大きい助けとなつた。
>等雄一郎
(1)発展途上国に関する開発理論の現段階
(2)経済学と文化人類学の接点を探り,経済人類学
の新しい分野を拓く。
(3にのテーマにカチッと決めたのは 3年の 2,3
月頃。しかし以前から文化人類学と発展途上国
の開発とに関心があったのでどちらか一方にす
るか,又はその結合したものにするか迷ったが
結局 3年のゼミの最終レポートが卒論の下敷き
となった。
)杉田光雄
(1)日本の化学工業
(2)硫安を中心に,農業,化学工業の関連を考察
(3)4年の初め。公害関係に興味をもち化学工業を
取り上げたのであるが,その大きなメルクマー
ルとして硫安 (合成アンモニア)が出てきた6
>井上郁男
(1)行政指導
(2)非権力行政と法治主義
(3)就職を公務員関係と決めていたので,それと関
連が深くまた行政法の分野では未開であったか
ら。
> M
(ll日本の近代化について
(2)既成の概念に囚われていないこと。
(3)4年になつてあわてて決めたのだが,はっきり
とした理由は/■‐い。強いて言えば先生にも勧め
られたから。
情報行動科学コース
ト犬飼建雄数理情報
(1)定理の自動証明
(2)コンピュータを使って (簡単な)定理が真か偽
か判定する。
(3)COmputerを使いたかったので,4年の
4月にすぐ決めた。
レlle田千恵子数理情報
(ll木探索による並び換え
(2)グラフ理論の応用。
(3)7月頃,前田渡教授と相談して。
>定末修治数理情報
(1)有向グラフにおいてパスを求めるアルゴリズム
(2)グラフをどのよのにプログラミングするか。
(3)7月頃,先生の推薦によって。
>中島幸彦生体情報
(1)記憶の生化学―記憶に関するRNAについての
一実験―
(2后己憶物質の抽出,移植実験。
(3)心理学における初めての動物実験であり,後輩
-11-

に生理心理学を目ざす学生がいることからも実
績を残しておきたからた。 48年 9月。
>浅野哲史行動科学
(ll囚人のデ・ レンマ (ゲーム理論)の一例
(2)利得行列を確率に変えたこと。
(3)久保良敏先生退官記念コンパにて ,人間行動の
先生方から「 テーマをまだ決めていないのか 」
と叱咤を受けた日。 (4月 18日)
実験手続きが簡単にデザインでき,今の力量で
取り組めるテーマであること。
>森井康幸行動科学
(1)記憶固定について
(2)学部創立以来 ,心理学において初めて動物実験
をした。
)白木幸久行動科学
(1)青年期における自己開放性の研究
12)自分に関する情報をその意志がなくとも,知ら
せるためにはどういう条件 (?)が必要かとい
う,コミュニケを通して自分と他人との関係を
知ろうとする研究
(3)夏休み前 (せっぱつまっていた)。興味をもて
たし,卒論として自分7A‐ りの研究で書けるので
は/A‐ いかと思ったから。
レ舘利恵行動科学
(1)配偶者選択の基準に関する調査研究
(2)卒論発表会を聞きにおいで。
(3)2月。秘密。
環境科学コース
ト松波和光
(1)偏微分方程式の数値解析
(2)コンピュータ使用による反復計算。流林力学に
関連。
(3)よく覚えていないが ,大体 6～ 7月頃で ,以前
からコンピュータを用いて何かやってみたいと
思っていたから。
willhelm BuSCh人と作品
卜今井知之
(1)金属水素化物の物性
(2)未だ ,金属水素化物なるものがはっきりわかっ
てrぃァょぃ。
(3)3月末 ,先生との長期交渉により。
>大場雅信
(1レヾナジウムクロロフィルの電気化学的研究
(2)酸化 ,還元 ,電位。
(3)なんとなく無機化学をやりたかった。
)柏田正博
(1遷移金属水素化物の物性について
(2)金属水素化物という新しい分野と未来。
(3)どんな遷移金属が興味深いか,どんなおもしろ
い現象があるかを予備実験した後 ,藤井先生と
討議して決めた。 (10月ご/D)
レ佐野博道
(1)チャの細胞学的研究
(2)よくわからない。
(3)来年から茶の行商を強いられているので。
レ村田格
(1)小瀬川流域の水分解析と水利用
(2)視点が多角的である点。
(3)計画 ,アセスメント関係をやりたいと思ってい
たので決めた。 `水 "を材料にしてトレーニン
グするつもりで。ここがスタートだからネ。 3
年の 12月に決心したが,対象地域を小瀬川流
域にしたのは 4年の 6月だった。
レ岸本宏
(1)産業廃棄物の利用と資源
(2)なし。
(3)なんとr■‐く。
レ藤本睦
(1)岡山県芳井町南石灰岩地域の地質学的ならびに
環境論的研究
(3)2月に先生からすすめられて6
論文題目名
ゝ
胸大井戸朋子
垣田久美
川田良一
菅原純子
ヨーロッパ的精神とブァレリー
化政期の悪所とその文化
■悪所の位置的考察を中心に一
維新期の民衆思想家
―窪田次郎についての二考察―
近世中国山地の鉄山労働者に
関する考察
宮沢賢治一芸術の研究―
「 農民芸術概論をめぐって 」
“Franglaisによる現代フラ
ンス語のゆれ "
日英比較表現論
―敬意表現をめぐって一
入会林野近代化法の意義と問題点
教師論論争史
,「 教育労働者 」概念の発展―′
林香代子
堀川静夫
村瀬紀美
浅山良一
榎良輔
社会
論文題目名
雅文
-1 2-

論文題目名
社会甲斐直樹
岸本誠
衣笠正純
後藤展久
佐田味良章
庄野幹雄
土田尚敬
土井進一郎
中洋=郎
中村英文
西尾順子
西田 計
藤原成幸
吉田 仁
岩田尚文
植木健
大下玲子
わが国の医療保険制度の
社会経済学的分析
建物の区分所有についての考察
近代日本における抵当制度の展開
サルトル存在論の概要
公害防止行政における法律と条例
行政事件訴訟法における訴えの利益
George Berkeley: An essay
towards a new theory of
ViSiOnを中心とした Berkeley思
想についての多少の考察
自動車産業の構造と特質
―弱者を通してみた自動車産業一
農業協同組合の現状と課題 ―地域社
会の変貌と農業協同組合の変質―
原爆投下の疑間と考察
学校事故救済法制度についての考察
レヴェラーズ研究
原子力発電の問題点
広島市の戦後の都市景観形成について
の一考察一国有地の転用を指標と
して一
状態推定機構を用いた追跡・回避微分
ゲームに関する研究
精神分裂病者のコミュニケーション行
動―対人距離とEYE40T「ACrの補
完関係に関する研究―
統計学の研究
場
い方も少し可笑しいのかもしれ/1‐ い。僕と少年とは
よくこの公園で出会うのだが,僕は彼のことを少し
も知ってはいrA‐ ぃし,彼と口をきいたことだってな
いのだから。でも誰にだってこうした知り合いが何
人かはいるのだろうと思う。今日も僕が石のベンチ
に腰を下していると,またいつものように少年が犬
を連れてやつてきた。少年が夕暮れを好きなのか,
それとも犬の方が夕暮れを好きなのか,僕は知ら7A‐
い。少年はどういうわけか今日は僕の隣のベンチに
坐って,時折僕の方を見やったりしている。別に僕
を見ているわけではないのだろうが,ひょっとして
少年の眼には僕が酷く奇怪な人間にでも映っている
のでは7i‐ いだろうかと思ってみたりもする。僕は随
分と前からぼんやりとこのベンチに腰かけている。
何故か僕の心は酷く穏やかだった。別に自称無神論
論文題目名
冨1腎皮質ミトコンドリアにおけるス
テロイド生合成機構
統計解析パッケージ・プrlグラムの
研究
定理の証明
関数解析の手法によるサテライト・
ランデブー終端制御
ラット腹水肝癌のリボ核蛋白
微小管再機構に関する研究
論理回路網のグラフによる解析
太陽虫の細胞接着に関する研究
研究者業績の要因分析
太陽虫のCeHCycle(細胞周期)
とLife cycle(生命周期)
鉄・ニッケルインバー合金の原子
環境的効果
植物と微生物との交互作用に
関する研究
広島湾の水質汚濁特性に関する研究
―マンガン,鉄 ,カドミウムの分布
と他の汚濁指標との関連性 ―
東広島市におけるタンポポ類の分布
状況とその環境指標性について
超微量水銀の分析法の検討と広島湾
における水銀の分布の測定
牛の冨1腎ミクロソームのチトクロー
ムP-450の精製と性質
情報越智
岸田
じ
″
ヽ ′
木下年夫
坂内 敦
佐々木康人
洲崎敏伸
高岡 稔
武田由美
野田泰三
原田清子
板野直文
上野和伝
小寺秀樹
長弘通男
平瀬則之
情報
2 卒論を書き終えて
雑 感
地域文化天野雅郎
わずかばかりの緑にも
日だまりと日かげとがある
公園に来て俺達は
ひとときのやすらぎをさがす
しばらくはこうして
止まった時間をみていよう
僕の知り合いに一人の頭の少々弱そうな少年がい
る。尤もそれは僕の単なる臆測にすぎないわけで,
少年はひょっとしたら凄く頭の良い少年r■‐のかもし
れないのだ。それに実を言えば,知り合いという言
重生
-13-